



校長室だより

学校教育目標「自ら学ぶ子供」

八代市立八代小学校
校長 村嶋 博史

R6,1,22 No,22



八代小ホームページ

能登半島地震の犠牲者及び被災者に心よりお悔やみとお見舞いを申し上げます

3学期がスタートしました

1月9日(火)、久しぶりに子供たちの元気の良い声が校内に響き、3学期がスタートしました。

始業式では、2年生と5年生の代表児童が「3学期の目標」を堂々と発表し、頼もしく感じました。そして、私から「3学期が始まる今、大事にしてほしいこと2つ」と、八代小でずっと取り組んでいる「やつしろスピリッツ(挨拶・聴き方・揃え方)」「自分の心に線を引く」に係る3学期の目標について伝えました。

「3学期が始まる今、大事にしてほしいこと2つ」では、「スタートダッシュで出遅れないよう、休みモードから気持ちをさっと切り替えて、前向きに取り組もう」、「学期の変わり目は新しい自分をつくるチャンスである。できなかったことにも積極的にチャレンジして、新たな自分に変身しよう」と伝えました。

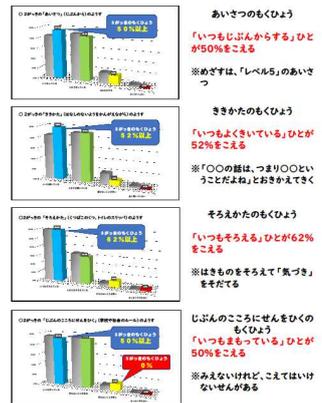
「やつしろスピリッツ(挨拶・聴き方・揃え方)」「自分の心に線を引く」に係る3学期の目標では、2学期末のアンケート調査を基に、ちょっと意識を変えて頑張れば達成できそうな数値目標を示しました。そして、この数値目標を記したポスターを作成し、各教室に掲示しましたので、今後子供たちは自分の態度を振り返りながら生活することと思います。

当日は、冷え込みが厳しい状況でしたので、オンラインでの始業式としました。その甲斐あってか、子供たちは集中して話を聞くことができていました。

3学期は、52日間という短い期間ですが、「めあて」「やる気」「振り返り」を大切に生活を送ることで、大いに力をつけてほしいと期待しています。



八代小3学期のもくひょう



地域行事「どんどや」が行われました

1月7日(日)、八代小学校区住民自治協議会主催の「どんどや」が本校の運動場で行われました。竹などで組まれた櫓に火がつけられると、参加された多くの方々から歓声が上がっていました。

今年度は、第4・5学年の子供たちが、学年PTA行事として参加しました。子供たちは、炎とともに、竹が弾ける大きな音を聞きながら、無病息災を祈願していました。また、羽子板やこま回しなどの昔ながらの正月遊びを楽しんだり、ぜんざいを食したり、楽しい時間を過ごしていました。子供たちにとっては、伝統行事に触れる貴重な体験でした。



「あいさつ」に対する意識を高めています

運営委員会や生活委員会の子供たちが、「あいさつ日本一を目指す」という目標を立てたことを受け、その機運を醸成しようと思い、のぼり旗20本を製作し、渡り廊下等に掲げました。

これを機に、学校全体に挨拶をしようとするやる気や雰囲気醸成され、地域社会でも活発に挨拶する子供が増えることを期待しています。

